

平成 23 年 4 月 18 日

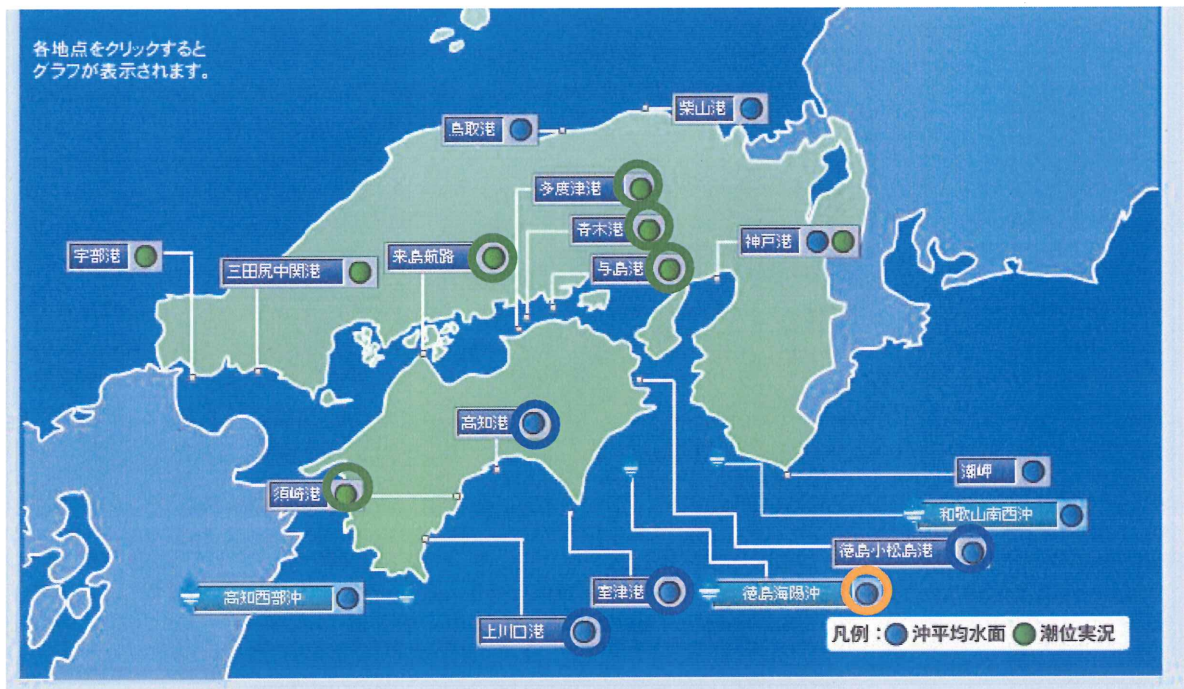
東日本大震災時における四国沿岸の波浪観測施設 による津波観測状況

東日本大震災時における四国沿岸の国土交通省所管の波浪観測施設で捉えた津波波形の整理と解析を行いました。

(独) 港湾空港技術研究所が処理した波形から以下のことがわかりました。

- ①地震発生(14:46頃)から約2時間後の16時半過ぎから、四国沿岸に津波が到達しました。瀬戸内海にも微弱な津波が到達しています。(図-2)
- ②第1波が最大波となった地点(徳島海陽沖, 徳島小松島沿岸, 室津沿岸)と第2波以降が最大波となった地点があります。(図-2)
- ③須崎港では、第7波(21時頃)が四国沿岸で最大となる津波高2.8mを記録しました。この値は、2010年のチリ津波で記録した1.3mの約2倍です。(図-2)
- ④須崎港では、地震発生から2日経っても波形が終息していません。(図-3)

図-1 四国沿岸域の観測地点



- 解析の対象
- : GPS波浪計 (徳島海陽沖)
 - : 沿岸波浪計 (徳島小松島港, 室津港, 高知港, 上川口港)
 - : 潮位計(検潮所) (徳島小松島港, 須崎港, 与島港, 青木港, 多度津港, 来島航路)

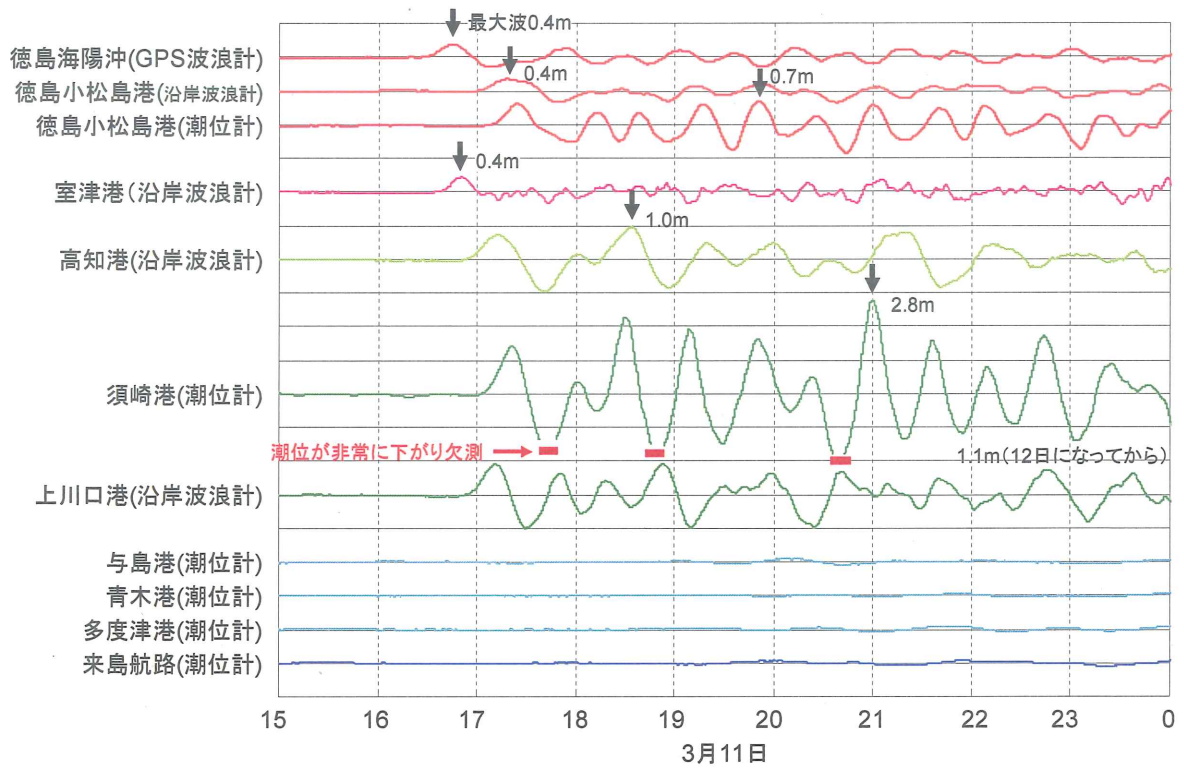
【本施策は、四国圏広域地方計画の「No.6 防災力向上プロジェクト」の取組みに関連します。】

○問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 電話番号 (087) 811-8334(直通)
 (担当) 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 込山 清 (コヤマ キヨシ)
 課長補佐 菅 高德 (スガ タカシ)

図一 2

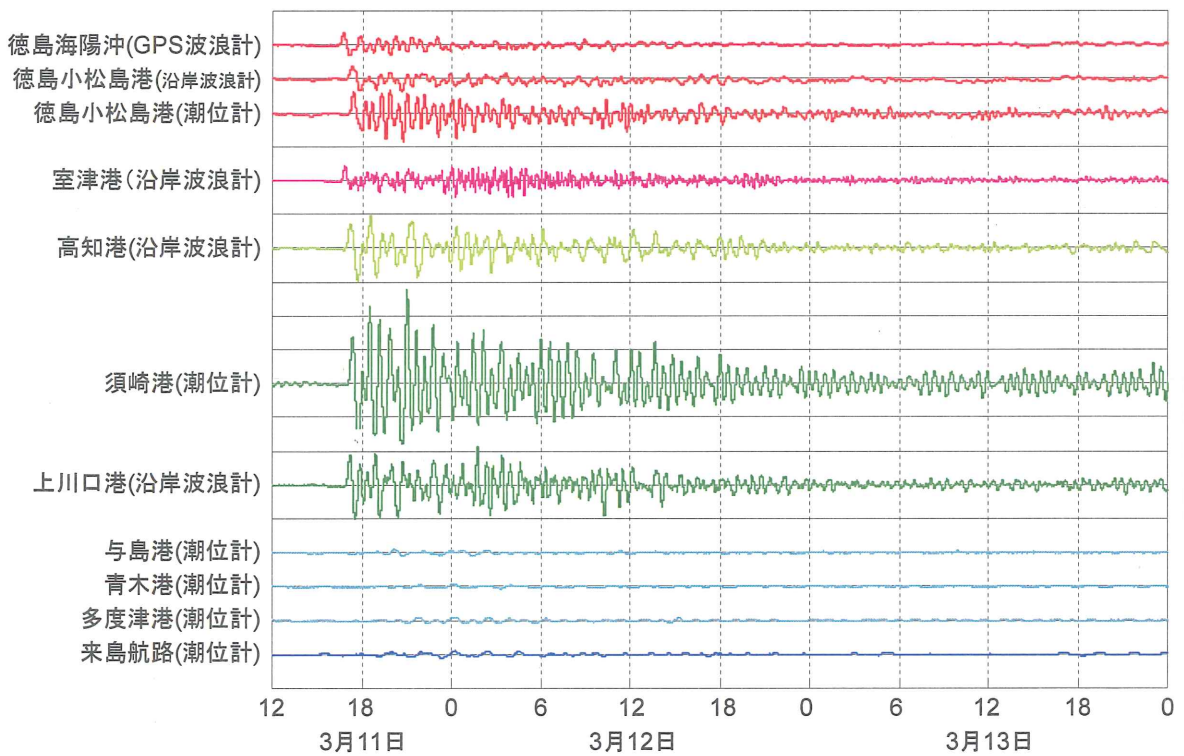
津波到達時 (3/11 午後) の波形



「※表示の最大波の数値は、天文潮位(潮汐)との差(偏差)です。」

図一 3

(3月11日午後～3月13日)の波形

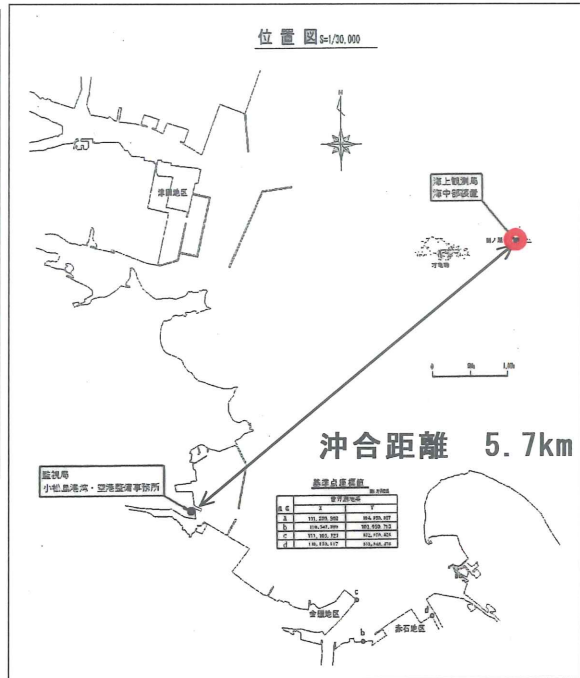


参考資料

徳島海陽沖(GPS 波浪計)位置図



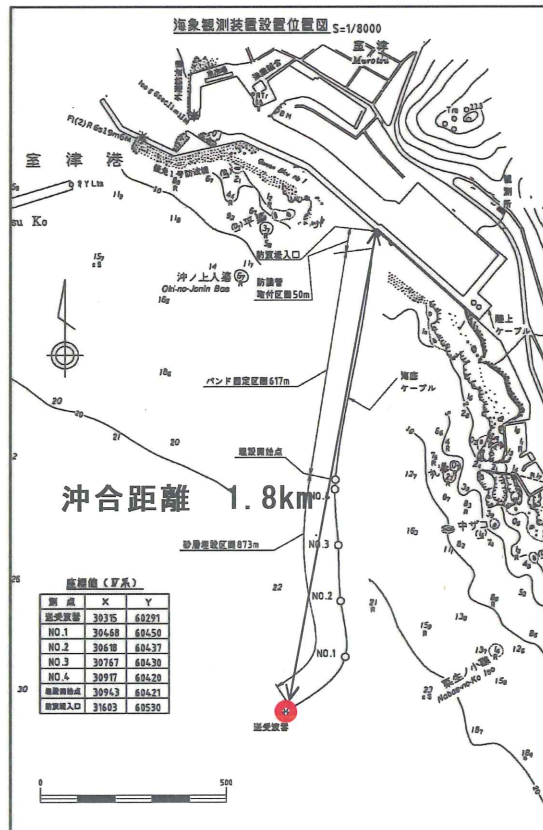
徳島小松島港(沿岸波浪計)位置図



徳島小松島港(潮位計)位置図



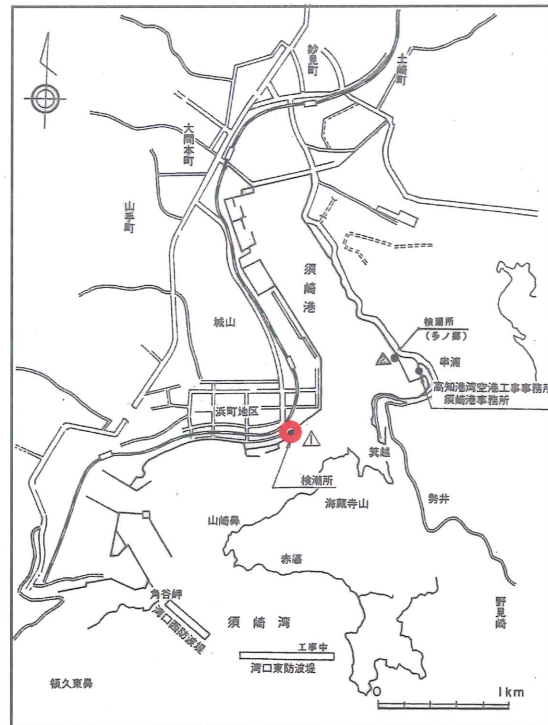
室津港(沿岸波浪計)位置図



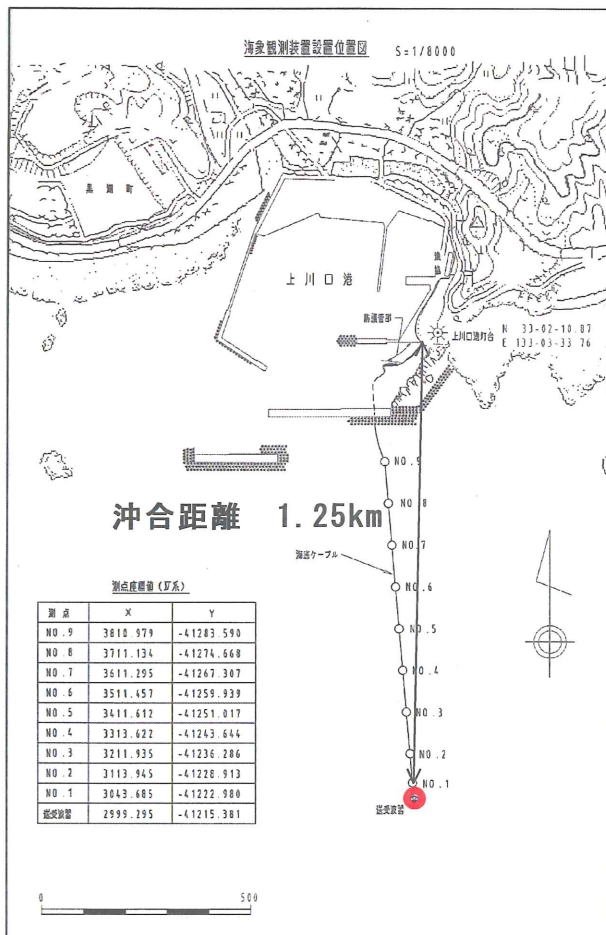
高知港(沿岸波浪計)位置図



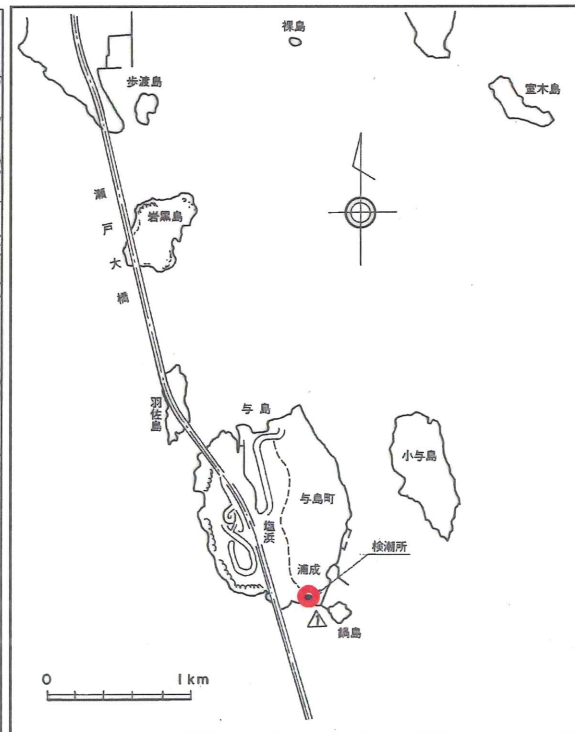
須崎港(潮位計)位置図



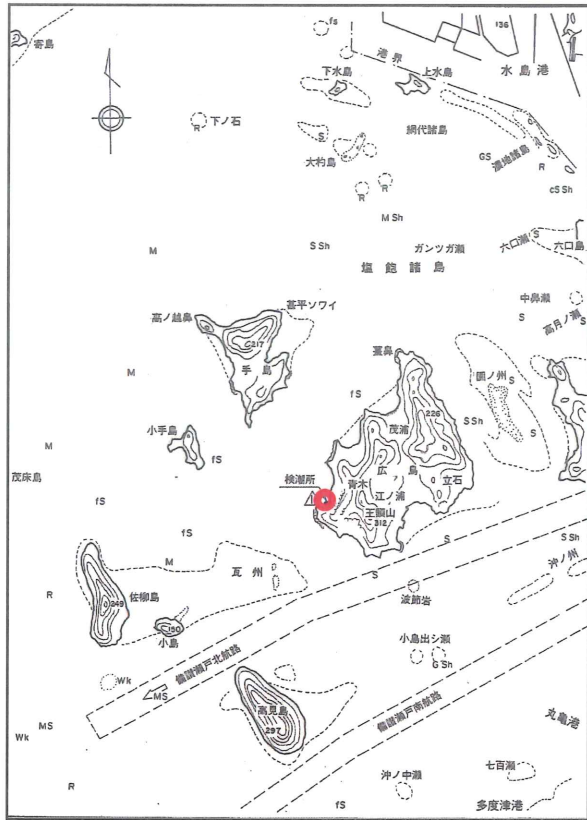
上川口港(沿岸波浪計)位置図



与島港(潮位計)位置図



青木港(潮位計)位置図



多度津港(潮位計)位置図



来島航路(潮位計)

